

大使館からのお知らせ（医療情報：狂犬病への注意）

平成25年12月5日  
在南アフリカ共和国日本国大使館

1 報道によれば、11月下旬、ヨハネスブルグ南東の Sedibeng 地区 Vanderbijlpark という町で、餌を与えられていた「猫」の様子がおかしいため、SPCA (Districts Society for the Prevention of Cruelty to Animals) に持ち込んだところ、SPCA 職員 2 人がその猫に噛まれる事件が発生しました。猫を解剖して調べた結果、その猫が「狂犬病」に感染していたことが確認されたため、同町では、急遽、3 ヶ月以内に狂犬病の予防注射を受けていない「犬と猫」の狂犬病予防接種をすることになったとのことでした。

2 ハウテン州では、狂犬病の発生報告は暫くありませんでしたが、何時どういいう経過で野生動物から身近な動物へ伝染し、それが人の社会に入ってくるかわかりません。

つきましては、今回狂犬病が確認された猫は、報道写真を見ても愛らしく、子供ならすぐに寄って行きたくなりそうな感じを受けますが、ペットといえども、定期的に予防接種を受けているとは限りませんので、犬・猫を含めて、ペット・野生動物には決して安易に近づかないよう十分ご注意ください。

（了）